
神威

桐丸

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

神威

【Nコード】

N4940Z

【作者名】

桐丸

【あらすじ】

大学生『神薙 海』は友人と訪れた地で1人の少女と出会う。

夢と現が交差する中、突如垣間見たのは前世の記憶。

避けようの無い破滅の刻が今、現世へと蘇る。

夕陽が見つめるその場所で、『朱い少女』の唇が、この物語の始まりを告げた。

「おかえりなさい……スサノオ」

かつて手放した想いを胸に、英雄神の魂を宿した男は再び歩み出す。かつて愛した、大切な彼女を失う未来へと……。

*他サイト様で連載中の物を加筆・修正しながらの投稿となります。

朱色の想い

波の音

紅い空

生命の営み

赤い屍

静寂の瞳

そして……

朱い哀愁^{あか}

耳には遠く人々の喧騒。

目には真紅の夢現。

世界はすべてを『あかく』染め、心の中を白く染める。

足下には物言わぬ異形が横たわり、灰となって紅い空へと消えて行く。

視線を上げた先には、夕陽に照らされ紅く染まる少女が一人。

その唇は何も言わず、強き想いを宿した『朱色の瞳』が真っ直ぐに俺を見つめる。

二人の間を分かつ様な穏やかなるも冷たい潮風。

彼女は乱れる髪を気にするでもなく、その朱はただ一心に俺を染める。

そう……俺は染まっていく。

『彼女』という存在に

『愛』という激情に

『裏切り』という後悔に
『恐怖』という現実

やがて喧騒が遠のき、静寂が目を覚ました世界の中で、朱い少女の唇が、この物語の始まりを告げた……。

「おかえりなさい……スサノオ」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4940z/>

神威

2011年12月16日20時54分発行